

均等・両立推進企業表彰 均等推進企業部門 奈良労働局長優良賞

佐藤薬品工業株式会社

所在地：橿原市 業種：製造業 従業員数：約520人

トップのリーダーシップのもと男女ともに働きやすい環境の整備に取り組む

1 ポジティブ・アクション取組の背景

◇平成14年に、現社長が就任し、日本の人口の男女比は約50%であることから、性別に捉われず適材適所に人材を配置し、女性も男性と同様に積極的に活躍させるという社長の方針のもと、女性の活躍が促進されている。

2 ポジティブ・アクション取組内容

- ◇製造部門や資材部門について、重量物の持ち運びを軽減するため、男女ともに操作のしやすい機械を導入し、女性も円滑に業務が進められるよう職場環境を整備するとともに、フォークリフトの免許取得のため研修を、女性にも積極的に受けさせ、多くの女性が現場で活躍している。
- ◇各部門・各個人ごとに、きめ細かい仕事の手順書を作成し、作業を標準化することにより、男女ともに配置しやすい職場とする工夫を行っている。
- ◇人事考課の際の面接において、女性の少ない部署に女性の希望があれば、積極的に応じている。
- ◇新任課長研修の実施時に、性別にかかわらず公正な評価を行うよう、評価者研修を行っている。
- ◇人事考課基準や昇進基準を明確にし、以前より労働者に周知をしているため、性別にかかわらず、能力のある者は役職に昇進するという風土となっている。
- ◇育児休業取得後の復職にあたっては、個別面談を行い、復職後の職務の希望などの相談に応じる配慮を行っている。それにより、女性の育児休業の取得が定着し、休業者の仕事は互いにフォローし合う体制をとり、主任職などの役付きで、育児休業を取得する者が多く、元の職場に復帰している。

3 ポジティブ・アクション取組成果

◇女性の勤続年数が伸長し、管理職に占める女性の割合は係長相当職は23%、課長相当職は3%となり、次長の女性が昨年に1名就任している。

多くの女性が管理職に登用されているため、ロールモデルとしての女性を身近に接することができ、女性が管理職に登用されることに抵抗を持たない風土が醸成されている。